

## 松村勝弘先生をお送りするにあたって

経営学部長・経営学研究科長 齋藤 雅通

経営管理研究科副研究科長 奥村 陽一

松村勝弘先生は、今年度 65 歳となられ、2010 年 3 月末にめでたく定年退職されることになりました。松村先生は 1972 年から 37 年有余の長期間にわたり本学に勤務され、私たち経営学部・経営学研究科・経営管理研究科の発展に多大な貢献をしていただきました。そのご功績に改めて思いをいたすとともに、私どもの深甚の謝意を表しつつ、ここに『立命館経営学』の退任記念号を謹呈させていただきます。

松村先生は、1967 年に立命館大学経営学部を卒業され、引き続き大学院経営学研究科に進学されました。1972 年に経営学研究科博士課程を単位取得退学された後は、同年 10 月から経営学部助教授に、1985 年には経営学部教授に就任され、経営財務論を中心とする専門科目を担当され、大学院における研究指導も含めて熱心に学生の教育に当られました。

松村先生は、コーポレート・ガバナンスの観点から日本企業の経営財務のあり様を解明するという研究テーマに長年取り組まれ、証券経済学会、日本経営財務研究学会、日本財務管理学会等の学会で議論を展開されてきました。これらの学会では理事・評議員・副会長を務め、その発展に貢献されています。さらに 2009 年には公認会計士試験委員にも就任されています。

大学運営に関わっては学部調査委員長などを歴任し、また 1998 年の経営学部のびわこ・くさつキャンパスにおける新展開いらい、一貫してファイナンス・インスティテュートの運営委員長をお勤めいただき、先生方の意見をまとめてその発展に尽力されてきました。2009 年からは大学院経営管理研究科の研究科長に就任いただいています。また、2002 年の発足いらい経営学部校友会副会長を務めていただき、経営学部校友に向けたセミナーを長年企画いただきました。

このように松村先生は、経営学部・経営学研究科及び経営管理研究科の発展に尽くされてられました。改めて感謝申し上げたいと思います。

最後になりましたが、松村先生におかれましては、いつまでもご健康でご活躍いただきますよう祈念申し上げるとともに、今後も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

